石川県七尾美術館だより

平成29年10月１日発行
編集・発行（公財）七尾美術財団

第91号（秋号）

ISHIKAWA
NANAO
ART MUSEUM

２０１７イタリア・ボローニャ国際絵本原画展

「ランパ・ラッタンリティクン博士の昆虫世界と自然の驚異博物館」
アドルフォ・セラ（スペイン）

展覧会紹介

平成29年10月1日(日)～12月28日(木)
休館日については裏表紙をご覧ください

「2017イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」

11月2日(木)～12月10日(日)
【会期中無休】

◇第1・第2・第3展示室

イタリアのボローニャ市で毎年開催される児童書専門の国際見本市、「ボローニャ・ブックフェア」(以下「ブックフェア」)では、世界各国の出版社がブースを構え版権の売買などが行われています。「絵本の道はボローニャに通ず」とばかりに、多くの編集者やイラストレーターだけでなく、世界中から絵本業界に携わるありとあらゆる職種の人々がブックフェアに集まり、ここでの出会いから新しい絵本が生まれ、世界中の子どもたちの手に届けられているのです。

ブックフェアのイベントとして実施されている絵本原画コンクールは、イラストレーターの登竜門としても知られています。コンクールは5枚1組の原画を5人の児童書の専門家が一堂に会し審査するもので、テーブルには全ての応募作品が並べられます。審査員が毎年変わるため、職種や国籍、感性の違いなどから、年毎に入選作品にも変化が生まれ、多様な作品と出会えるのも特徴です。今年は世界61カ国、3，368組という過去最多の応募があり、16，000枚を超える原画の中からヨーロッパ、アジア、アフリカ、北米、南米の26カ国、75組(日本人6名を含む)の作品が入選しました。

「どこがヘンかな？」
マリー・ミニョ（フランス）

この入選作品による展覧会は「イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」として1978年に西宮市大谷記念美術館で紹介されて以降、国内数カ所で毎年開催され、石川県内では1995年に小松市の小松市立本陣記念美術館、小松市民ギャラリー・ルフレの2会場にわたり開催されたのが始まりでした。1998年からは当館での開催となり、以降、開催が危ぶまれた年も(幾度か…)ありましたが毎年継続し、多くの皆さんにご覧いただいています。そして今年、開催20回目を迎えます。20年前、手を繋いで観ていたお子さんも既に社会人、もしくはお孫さんも加わり3世代で、などというご家族もいらっしゃるのではないでしょうか。

時代の流れとともに、デジタルで制作された作品の増加などの変化はありますが、アイディアを具現化する最良の手段であるのならば、完成されたイラストの物語を伝える力は肉筆のそれに少しも劣らないのです。新たな表現や技法の登場は流行を生み出し、世界各地へ広まります。そして主流となるころ、もしくは消化されたころには、また新たな作風の登場へと繰り返されるのです。

絵本の「今」を象徴する作品をご覧ください。

【今年の審査員】

ハリエット・バーキンショー
（編集者、ノーブラウ社／イギリス）

「カラー＆パターン きょうのようふく なにいろ なにもよう？」
オオノ・マユミ（日本）

ジャン＝フランソワ・マルタン
（イラストレーター／フランス）
ダニエラ・スタマティアディ
（画家、イラストレーター／ギリシャ）
アリアンナ・スクイッローニ
（編集者、ア・ブエン・パソ出版／イタリア）
スティーヴン・グアルナッチャ
（イラストレーター、デザイナー／アメリカ）

【特別展示①　ファン・パロミノ】

昨年ボローニャ展に入選し、ボローニャ・SM出版賞を受賞したメキシコの絵本作家ファン・パロミノ。グアテマラのマヤ民族の神話『ポポル・ブフ』をもとに制作したSM賞受賞記念絵本、『はじまりの前に』の原画17枚を展示します。

『はじまりの前に』
(『Antes del primer dia』)
(Ediciones SM、2017)

「いってらっしゃい」
レーナ・ヴィンケル（ドイツ）

【特別展示②　見て めくって 感じる 日本の絵本】

今年のボローニャブックフェアでは「日伊国交150周年記念」の一環として、日本の絵本を紹介する展示が開催されました。広松由希子氏(絵本評論家)、土居安子氏(一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団総括専門員)の両氏の協力により「日本語を知らない読者も楽しめる」という観点で、過去5年間に出版された絵本から選書された53冊が紹介され、好評を博しました。ボローニャ展でも、この絵本を展示し、イラストの持つ力と日本の絵本の魅力をお楽しみいただきます。

【映像コーナー】
今年1月の審査会、4月のブックフェアの様子や、審査員や入選作家、編集者へのインタビューを紹介します。絵本作家を目指す方は必見!!

【絵本コーナー】
展示作品や入選作家の絵本、ボローニャ・ブックフェアでラガッツィ賞を受賞した世界の絵本、おすすめ絵本などをご覧いただけます。

※ラガッツィ賞…フィクション、ノンフィクション、ニューホライズン、オペラ・プリマの4部門で最優秀賞と優秀賞が選ばれる。今年はフィクション部門の優秀賞に「もうぬげない」ヨシタケシンスケ(ブロンズ新社)が選ばれた。

●○●○●ボローニャ展関連イベント●○●○●

✿絵本アニメ上映会✿【入場無料】

世界の名作絵本アニメを上映します。絵本に登場するキャラクターがスクリーンを動き回ります。

開催日 11／3(金・祝)、4(土)、11(土)、18(土)、25(土)、12／2(土)、9(土)
時　間 11：00～11：40、13：00～13：40
会　場 アートホール

✿かんたん絵本を作ろうよ!✿【要観覧券】

不要となったポスターなどの裏面を利用して冊子を作り、ストーリーを考え、自由に飾りつけてオリジナル絵本を作ります。

日　時 会期中毎週土・日曜日、14：00～16：00
対　象 4歳～小学生(未就学児は保護者同伴)
定　員 各日10名(要申込、先着順)
持ち物 不要なポスターなど
協　力 絵本の会　もこもこ
会　場 展示室内
申　込 10／21(土)9：00より電話にて受付。

✿おはなし劇場✿【入場無料】

絵本を大型スクリーンに投影しての読み聞かせ、温かみのある人形劇の上演などで、物語の世界へご招待します。簡単な手作りコーナーもあります。

開催日 11／12(日)
時　間 10：30～11：30、13：00～14：00
協　力 NPO法人　ぽっかぽか
会　場 アートホール

✿「のまりん」の紙芝居劇場✿【入場無料】

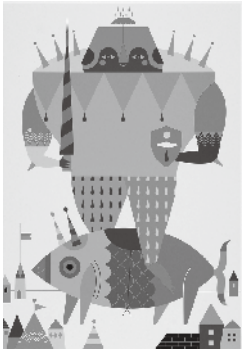
紙芝居の前に座ると、大人も子どももワクワクドキドキ。世界で紙芝居の魅力を伝える「のまりん」の豊かな表現をお楽しみください。

開催日 11／19(日)
時　間 11：00～11：40、13：00～13：40
出　演 のまりん(野間成之氏)
会　場 アートホール

✿ナイトミュージアム✿【要観覧券】

絵本の読み聞かせや会話を楽しみたい方、日中は時間が取れない方に最適の夜間延長です。お出かけついでの方も、どうぞお越しください。

日　時 12／2(土)、17：00～20：00
※展示室が若干賑やかになる可能性があります。

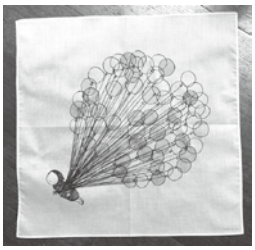

「プリンセスを助ける100人の騎士」
カミッラ・ファルシーニ(イタリア)

「シュミッツさん、コンサートに行く」
アンドレ・レスラー（ドイツ）

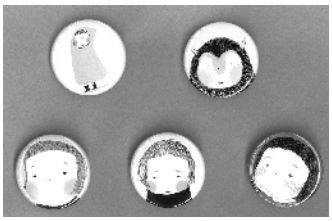
★イタリア・ボローニャ展グッズ販売★

ミュージアムショップコーナーではボローニャ展関連グッズを販売します。図録をはじめ、入選作品のポストカード16種類や、絵本も和書・洋書と取り揃え、またクリアファイルや立体ポストカード、缶バッチ、ガーゼハンカチなど過去の日本人入選作家のオリジナルグッズも交じえて販売します。当館友の会会員証の提示で割引になるものもあります。人気商品は会期途中でも売り切れてしまうことがありますので、是非お早めにお立ち寄りください。

クリアファイルA4　300円


ガーゼハンカチ　1,296円

立体ポストカード
8枚セット1,500円　各200円


缶バッチ　324円

◇観覧料

	個人	団体
一般	800円	700円
大高生	350円	300円

※中学生以下無料・団体は20名以上です。

「能州ガ生ミシ名畫（メイガ）」

～仏画・肖像画、そして等伯と当地ゆかりの絵師たち～

9月23日(土・祝)〔開催中〕～10月22日(日)

◇第2展示室

石川県能登地方が「能登国」と呼ばれていたのは、奈良時代から明治時代までのおおよそ1200年間。その中で中世から近世にかけての時代は、室町時代には能登畠山氏、そして江戸時代には加賀藩前田氏によって領有されています。

能登畠山氏は室町幕府内で代々重職を担った畠山氏の分家筋という名門で、初代満慶(?～1432)以来11代、おおよそ170年にわたって能登国を統治しました。そして前田氏は加賀・能登・越中3ヶ国を領する「加賀百万石」の大名として、初代利家(1536?～99)から14代、約260年間にわたり同地域を治めています。

両氏に共通しているのは、文化政策を積極的に行ったこと。その下で能登も美術工芸が盛んとなり、数多の名品がもたらされる一方、当地ならではの文物も次々と生み出されました。

本展では、その幾多の美術工芸品の中より室町時代から江戸時代にかけて制作、もしくは伝来した「能登地方ゆかりの絵画」に注目。仏画や肖像画、そして「長谷川派」や文人画家の作品など、計21点の貴重な絵画を展示しています。

長き年月、能登の風土に育まれつつ大切に受け継がれてきた名画たち。それらかけがえのない品々を、ぜひとも当地にてご鑑賞ください。

能登町指定文化財
「畠山義親像」
能登町・萬福寺蔵

能登の「長谷川派」絵師たち

「能登の絵画」を語るうえで決して欠かせない絵師といえば、やはり長谷川等伯(1539～1610)でしょう。若年期、「信春」の名で能登の絵仏師だったという等伯。そしてその頃、同地にはすでに「長谷川派」と呼ぶべき絵師たちが存在、制作活動を繰り広げていました。

現在、等伯の先達として重要な存在と考えられている絵師が、無分(生没年不詳)と宗清(1507～71)です。一説には等伯養祖父ともいわれる無分と、養父かつ絵の師匠として等伯を導いたという宗清。各作品を比較すると、この両者が若き等伯に大きな影響を与えたことが窺えます。等伯は33歳頃に京都に移住しますが、彼らの教えを心に刻みながらの旅立ちだったことでしょう。

そして、等伯上洛後も能登では「長谷川派」が存続していたようです。一族と考えられる等誉(?～1636)をはじめ、各所に「長谷川派」絵師の制作と考えられる仏画が残されており、少なくとも江戸時代前期頃までは、一門の活躍ぶりを推測することができるのです。

本展では若年期の等伯や宗清、等誉の仏画などを紹介。さらに参考出品として、「複製松林図屏風」(原本長谷川等伯筆)も展示しています。

「釈迦三尊像」
七尾市・悦叟寺蔵

石川県指定文化財
「善女龍王図」
長谷川信春（等伯）

能登の文人画家・池野観了と山崎雲山

江戸時代中期頃より、京都などで流行した文人画(南画)。能登の文人画家としては、池野観了(1753～1830)と山崎雲山(1771～1837)の2人が代表格でしょう。本展では彼らを1テーマとしてその作品を紹介しています。

池野観了は羽咋郡赤住村(現羽咋郡志賀町赤住)出身で、同地の恩敬寺第14代住職でした。若年期に京都で当時の代表的文人画家・池大雅(1723～76)に師事、大きな影響を受けます。

住職のつとめを果たしつつ意欲的に制作活動を続け、晩年にいたるまで「大雅様式」を追求。その姿勢より「能登の大雅堂」と呼ばれました。

山崎雲山は羽咋郡滝村(現羽咋市滝町)出身。生まれは漁師の家ですが絵を志し独学。著名な文人たちと交流するなどして広範な技量を身につけ、絵画や詩、書で独自の境地を開きます。

主に能登各地や金沢を巡り、自適に制作活動を続けました。孤独を好む性格であったこともあり、「孤高の南画家」と称されています。

「雪景山水図」
山崎雲山
個人蔵

志賀町指定文化財
「虎図襖」（部分） 池野観了
志賀町・恩敬寺蔵

同時開催

「所蔵品にみる いしかわの工芸」

◇第1展示室

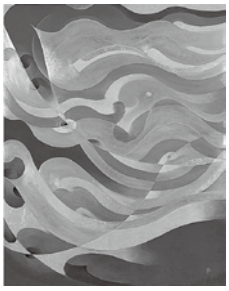
石川県は「工芸王国」と呼ばれるほど、伝統工芸が盛んな地域。県内を巡ると、数多くの工芸関連施設を目にするのではないでしょうか。

その繁栄には、加賀藩の存在をぬきにしては語れません。同藩は文化活動を盛んに奨励して「百万石大名」の豊富な財力を惜しみなく投入。領内の美術工芸隆盛に大きく寄与しました。

明治時代以降もその伝統は受け継がれ、常に優れた人材を輩出しつつ現在に至るのです。ざっと挙げても「九谷焼」「輪島塗」「加賀友禅」など、多くの名が思い浮かぶ石川県の伝統工芸。まさに工芸の「百花繚乱」といえるでしょう。

さて本年秋、石川県を舞台に工芸のビックイベント「21世紀鷹峯フォーラム第3回in石川・金沢」が開催されます。10月6日(金)より11月26日(日)までの約2ヶ月間、県内各地が様々な「工芸」に彩られる同イベント。当館も連携館として名を連ねていることから、本展では「池田コレクション」などの所蔵品より石川県ゆかりの工芸作品34点を幅広く紹介しています。

「色絵山水人物図額鉢　小野窯」
（池田コレクション）



「潮文」　番浦省吾

◇共通観覧料

	個人	団体
一般	500円	400円
大高生	350円	300円

※中学生以下無料・団体は20名以上です。

ティールームからのお知らせ

展覧会を楽しんだあとは、ティールームでゆっくりおくつろぎください。

ボローニャ展限定メニュー

チョコレートパフェ
【700円】

チョコレートアイスとバナナの最強コンビにしっとりガトーショコラを加えた“まちがいないパフェ“登場～♪　是非ご賞味ください。

ランチメニュー、ケーキセットなど、ボローニャ展限定メニューをご注文のお客様には、本展出品作品をモチーフにしたペーパーコースターが付いてきます♪

≪ 期間 11/2 ～ 12/10 まで≫

★友の会会員様★
会計時にレジにて会員証をご提示いただくと10%割引になります。

当館所蔵品貸出情報（10月1日現在）

【その1】

①工芸「象嵌雉香炉」高橋介州　　1合
②工芸「象嵌飛燕置物」高橋介州　　1対
（①②とも池田コレクション）

会　場　石川県立美術館（金沢市出羽町2-1）
☎076-231-7580

展覧会　石川県立美術館特別陳列
「高橋介州と加賀象嵌のあゆみ」

会　期　10月6日(金)～11月7日(火)

「象嵌雉香炉」高橋介州
（池田コレクション）

【その2】

①書「對松軒」北大路魯山人　1面（池田コレクション）

会　場　石川県九谷焼美術館（加賀市大聖寺地方町1-10-13）
☎0761-72-7466

展覧会　石川県九谷焼美術館開館15周年特別企画展①
「魯山人と初代須田菁華展」

会　期　10月28日(土)～平成30年2月4日(日)

※展覧会の詳細は各施設にお問い合わせください。

貸館催し物案内

市民ギャラリー

第10回　大場濯川書作展

無料入場

10月7日(土)～9日(月・祝)
最終日は午後4時まで

近々5年の新作を中心に、書と篆刻合せて90余点に、恩師方の作品も5点展示します。詞句のニュアンスまで具象化したいものと心掛けてはいるのですが…。ご笑覧ご教導くださいませ。

主　催　大場濯川
連絡先　☎0767(66)0422

MOA美術館 七尾・中能登児童作品展

無料入場

10月12日(木)～15日(日)
初日は午後1時から

生命を尊ぶ心、心ゆたかな人間形成を願いに、未来にはばたく子供たちに、夢と希望を与える入賞作品を展示させていただきますので、ぜひご鑑賞ください。10月15日午前10時より美術館アートホールにて入賞者の表彰式を行います。

主　催　（公財）岡田茂吉美術文化財団（MOA美術館）、MOA美術館七尾・中能登児童作品展実行委員会
連絡先　同展実行委員会
☎0767(53)3914

第13回　七尾市民文化祭
第12回　彩の会・写団のと展　無料入場

10月20日(金)～22日(日)
最終日は午後4時30分まで

七尾市を中心に活動する洋画グループ「彩の会」と写真グループ「写団のと」の会員25人による近作の合同展覧会。各地の風景や人々の表情など約80点の作品をどうぞご高覧ください。

主　催　七尾市文化協会
連絡先　同右
☎0767(53)0596
彩の会　加地求
☎0767(52)1613

第63回　七尾市美術展覧会　無料入場

10月27日(金)～30日(月)
最終日は午後3時まで

一般の部・学生の部(幼児・小・中・高校生)の応募作品展です。市民総合展覧会で能登最大の規模となります。青少年の美術向上と育成をめざしています。是非、足をお運びください。力作ぞろいです。10月29日午後1時よりアートホールにて入賞者の表彰式を行います。

主　催　七尾美術作家協会
連絡先　同右　副会長　橋本義則
☎0767(53)3013

第74回　北國写真展　七尾展　無料入場

12月22日(金)～24日(日)

第74回を迎えるに当たり写真人口の多さに驚かされる。人と写真の係わりはその中の溢れんばかりの新鮮な感動の享受だろうか、人と写真いつまでも牽引し続けるものではと思う。乞御期待。

主　催　北國写真連盟、北國新聞社ほか
連絡先　宮崎功
☎0767(57)2845

アートホール

第5回　七尾まだら伝承会発表会　無料入場

10月8日(日)　開演　午後1時

私達「七尾まだら伝承会」は指定無形民俗文化財正調七尾まだら一筋に歌と踊りの稽古に日々励んでおります。地元の「七尾まだら」をこの機会に御覧頂ければ幸いです。御来場お待ち致します。

主　催　七尾まだら伝承会
連絡先　赤尾義則
☎0767(53)0995

映画「みんなの学校」講演会「子どもで地域は育つ」
～青空小学校の元校長先生木村泰子さん～

11月4日(土)
映画　開演　午後3時
講演会　開演　午後5時

文部科学省特別選定にも選ばれ、数々の受賞をしているドキュメンタリー映画。大人の関わり方で、子ども達が過ごしやすい空間になるという、希望いっぱいの内容です。映画上映後、「青空小学校」の元校長先生である木村泰子さんの講演があります。子育てのヒントをたくさん頂きましょう。

入場料　1，000円
主　催　七尾子ども劇場CL部
連絡先　澤多
☎080-3046-8475

dolce ピアノコンサート　無料入場

11月5日(日)　開演　午後1時30分

年に一度のピアノの発表会で年長児から大人まで出演します。今年は行進曲をテーマにしました。講師演奏もあります。どなたでもお気軽に御来場ください。

主　催　ピアノグループ dolce
連絡先　井藤真理
☎0767(58)1253

サクソフォンコンサート　無料入場

11月23日(木・祝)
開演　午後2時

能登を中心に活動を行っている、きままサクソフォンアンサンブルのコンサートです。クラシックからポピュラーまで芸術の秋に相応しいサクソフォンの世界を存分にお楽しみください。

主　催　きままサクソフォンアンサンブル
連絡先　稲田薫
☎090-8968-4542

琴城流大正琴なな華の集い　無料入場

11月26日(日)　開演　午後1時30分

大正琴と生け花、エレクトーンとのコラボレーション、三味線の演奏。童謡、歌謡曲、邦楽等、様々なジャンルでお楽しみ頂きたいと思います。

主　催　なな華
連絡先　細川一絵
☎0767(84)1785

「明日―戦争は罪悪である―」上映会

12月9日(土)　開演　午後2時30分

この映画は太平洋戦争中、戦争に反対した僧侶の実話を元に制作されました。仏教の五戒中「不殺生」の教え、命の大切さを考えさせられる映画です。

入場料　1，000円
主　催　同映画上映実行委員会
連絡先　本延寺
☎0767(52)2790

第17回　メロディ音楽会　無料入場

12月10日(日)　開演　午後1時30分

2年に1回開かれるピアノ発表会です。お馴染みのクラシックからポップス、映画音楽等、生徒達がお気に入りの1曲を演奏します。どうぞ、お気軽にご来場ください。

主　催　松本由美子門下生
連絡先　松本由美子
☎0767(53)7068

有馬圭亮左手のピアノコンサート

12月24日(日)　開演　午後2時

歴史に埋もれた貴重な左手のピアノ作品による演奏会に、左手のピアニスト有馬氏をお招きします。前半、後半の2部制でバッハのシャコンヌ、シベリウスの樅の木、クリスマス曲を予定しています。

前売券　一般・高校生　1，500円
小・中学生　800円
主　催　ワンハンドコンサート実行委員会
連絡先　林尚子
☎090-6463-6976

カツモク
刮目※せよ
※「よく見てね」の意

10月21日(土)は「山の寺の日」！

16の寺院がまとまって所在する、七尾を代表する歴史スポット「山の寺寺院群」。貴重な文物を多数所蔵するこの七尾のいわば「文化財の宝庫」を会場に、平成26年以来毎年秋に開催されているのが「山の寺の日」です。各寺院が寺宝を特別公開するとともに、多彩なイベントが賑やかに繰り広げられます。

さて、今年も間もなくその日がやってきます。今回は「秋の三めぐり　仏像(宝物)・寺学・御朱印」がテーマで、初公開のお仏像もあるとのこと。さらに特別講演として、横山方子先生(石川県郷土史学会幹事)による「前田家歴代の女性たち」も予定されています。(午後１時より長齢寺にて)

無論、長谷川等伯や「長谷川派」の絵画をはじめ、仏画や肖像画・絵馬などの美術工芸品、そして経典や文書などの歴史史料もめじろ押し。普段はなかなか観ることのできない貴重な文化財ぞろいで、これを見逃す手はありません。等伯・歴史・美術などいずれのファンの方々も、きっと心ゆくまで「山の寺」を満喫することができることでしょう。

開催日時は**10月21日(土)の午前９時から午後４時30分まで。**
当日は寺院群や当館を巡るのに便利な無料のシャトルバスも運行されます。
年に１回きりの特別な日。さあ、いざ行かん「山の寺」へ！

※詳細は「山の寺の日」実行委員会事務局(長壽寺内☎0767-53-1247)
までお問い合わせください。

本延寺（「山の寺寺院群」内）

参加者大募集！　美術館友の会会員限定美術講座

七尾ｄｅ再発見パートⅢ ～悠久の「山の寺」をめぐる～

「いつでも行けそうで意外と行ったことがない、地元･七尾の魅力的なスポットを巡る」がスローガンの本講座。第３回目の舞台は「山の寺寺院群」です。今から約400年前、前田利家によって整備されたといわれ、七尾における「歴史と文化のロマンあふれる場所」として知られています。

今回の講座では「山の寺の日」にあわせて、長谷川等伯関連などのお寺３箇寺を訪問。ご住職によるありがたいお話しや貴重な寺宝の鑑賞などに加えて、お茶会にも参加する半日ツアーです。ぜひご一緒に「芸術の秋」のひとときを堪能しませんか？皆さまからのお申し込みをお待ちしております。

◆**日　時**　10月21日(土)　８：45～12：00予定
◆**見学地**　長壽寺、本延寺、宝幢寺
◆**参加費**　500円(お抹茶代)
◆**定　員**　10名(対象は原則として成人)
◆**募　集**　10月７日(土)より電話にて申込受付。
☎0767-53-1500（定員に達し次第締切）

友の会講座開催報告

「かわいい加賀手まりづくり」

去る7月9日、友の会美術講座として、七尾市在住の日本てまりの会教授である村本都氏を講師にお招きし「加賀手まり」の制作体験講座を開催しました。

この講座に参加するために友の会へ入会された方もおり、参加者は7名となりました。

初心者の方でも取り組みやすいようにと準備された土台で手まり作りをスタート。絹糸をかけて模様をかがります。簡単なように思われましたが、少し力を入れると土台の形がゆがみ、加減が難しいと実感しました。皆で会話を楽しみながら、世界にひとつだけの加賀手まりを完成することが出来ました。

参加者の方から「また、機会があれば受講したい」「かわいい手まりに仕上がった」「楽しかった」「作った人の想いがわかり大切にしたい」との感想をいただきました。

完成した作品は、7月11日から30日までエントランスホールに展示し、来館者の方々にも大好評でした。

村本先生、参加者の皆様どうもありがとうございました。

これからの展覧会予定

平成29年12月16日(土) ～平成30年2月12日(月・祝)

◆第１展示室 「お茶道具ならんだ ～池田コレクションを中心に～」

ひとくちに「お茶道具」といっても、その数たるや実に膨大。お茶が人びとに嗜まれるようになってこの方、時代や好みなどに反映されつつ多種多様な道具が数多く作られてきました。本展では「池田コレクション」など当館所蔵品より、様々な茶道美術品を展示します。

「ノンコウ赤茶碗　銘小判」
樂 道入（池田コレクション）

◆第２展示室 「モノクローム ～単色の宇宙～」

水墨画や書、写真などにみられるごとく、美術工芸における表現方法の１つである「モノクロ」。白と黒だけでおりなされるその世界は、シンプルなだけにより深遠で、見る者により強く訴えかけてくる力があります。本展ではモノクロの作品を当館所蔵品より紹介します。

「深山杜鵑図」
今尾景年（池田コレクション）

平成30年2月24日(土) ～ 4月15日(日)

◆第１展示室 「幼きものは」

概して、人間や動物の子どもは愛らしく、か弱い存在として認識されています。作家は幼いものの内に、何を見いだし制作したのでしょうか。単なる庇護欲をかきたてるだけの存在ではなく、その純粋無垢な様に憧れずにはいられなかったのかもしれません。その姿に触れると、誰もが幼少期の記憶を思い出すことでしょう。絵画・彫刻・写真の約20点でお楽しみください。

上：「歩拾弐歳」稲元 実

右：「田園 残雪」山本丘人
（池田コレクション）

◆第２展示室 「水温む」

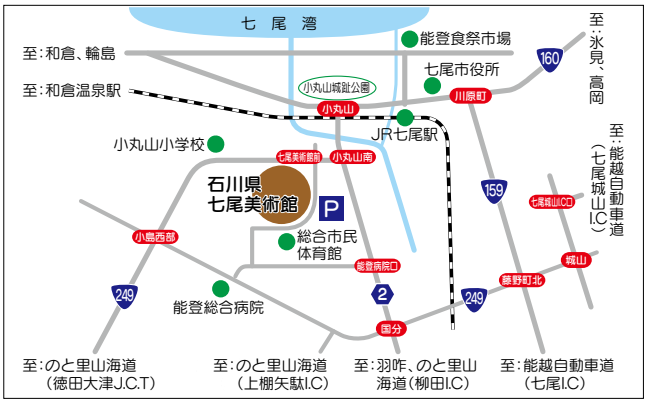
冬の寒さが緩み池や川の水も温かくなるころ、地面は乾きはじめ、眠っていた命が噴き出す。世界は春を迎える喜びに満ち溢れ、私たちも何かを期待せずにはいられず、春の訪れを心待ちにします。その喜びを表現した作品など、絵画・彫刻・工芸の約25点を展示します。一足早い春をご覧ください。

プレミアム・パスポート PREMIUM PASS 子育てにやさしい店

割引、プレゼントなど特典いろいろ！
ぜひ当館でもご利用ください。

無線でネット FREESPOT ブロードバンド・オアシス

エントランスホール及びティールームにて、Wi-Fi スポットサービスの「FREESPOT」をご利用頂けます。



●飛行機…のと里山空港から「のと里山海道」利用約45分　●車…「のと里山海道」徳田大津JCTから約15分又は「能越自動車道」七尾城山IC又は七尾ICから約10分　●タクシー…JR七尾駅から約5分　●徒歩…JR七尾駅から約20分　●市内循環バス「まりん号」…JR七尾駅前「ミナ.クル」バス停から「七尾美術館前」下車（順回り約8分・逆回り約14分、1日各8便）　●ななおコミュニティバス「ぐるっと7」…JR七尾駅前5番乗り場から「小丸山台1丁目」下車（西コース約10分、1日4便）

◎次号・第92号（冬号）は１月１日発行予定です。

2017 10 OCTOBER						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

11 NOVEMBER						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

12 DECEMBER						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

◆10月～12月カレンダー◆　※■は休館日
◆開館時間◆　午前9時～午後5時
（入館は午後4時30分まで）

〒926-0855　石川県七尾市小丸山台一丁目１番地
TEL(0767)53-1500 ／ FAX(0767)53-6262
http://nanao-art-museum.jp